

## 被災家屋等の解体撤去費用申請書(自費解体)

令和 年 月 日

球磨村長 様

申請者	ふりがな (氏名) <small>※法人の場合、名称及び代表者</small>	印
(生年月日) 明・大・昭・平 年 月 日		
(住所) 〒 <small>※住民票上の住所ではなく、郵便が届く場所</small>		
(電話番号) <small>※日中に連絡がつくもの</small>		
家屋等の所有者との関係 <input type="checkbox"/> 本人 <input type="checkbox"/> 本人以外( )		

令和2年7月豪雨により損壊した下記の家屋等について、生活環境保全上支障が生じたため、既に解体撤去しました。

つきましては、当該損害家屋等の解体撤去費用について、民法第702条の規定に基づき、負担していただきますよう申請します。

### 記

被災家屋等の所在地	球磨郡球磨村大字		
被災家屋等の数・種類	計	棟	<input type="checkbox"/> 住宅 <input type="checkbox"/> 倉庫・物置 <input type="checkbox"/> 賃貸住宅・寮・社宅(名称 ) <input type="checkbox"/> 事務所・店舗・作業所 <input type="checkbox"/> その他( )
被災家屋等の所有者	<input type="checkbox"/> 申請者と同じ		
	<input type="checkbox"/> " と異なる <small>※必ず同意書と印鑑証明書を提出してください。</small>		
			(住所)
			ふりがな (氏名・名称)
り災証明書	<input type="checkbox"/> 取得済 <input type="checkbox"/> 未取得		
解体前の家屋等の状況	<input type="checkbox"/> 既に倒壊していた <input type="checkbox"/> 他の家屋等に物的被害を生じさせていた <input type="checkbox"/> 家屋等について生活環境保全上の支障が生じていた(又は生じる恐れがあった) ( ⇒具体的状況について簡潔に記載してください。 )		
家屋等の権利関係	(1) 共有名義人 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(自分の外 名)		
	(2) 相続権者 <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり(自分の外 名)		
	(3) 権利関係(賃借権、抵当権、根抵当権など) <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり → (権利内容 )		

※裏面もご確認ください。

解体の状況	(1) 解体時期
	契約日 : 令和 年 月 日
	解体開始 : 令和 年 月 日
	解体終了 : 令和 年 月 日
	(2) 家屋等の解体を委託した解体業者
業者名	_____
所在地	_____
電話番号	_____
(3) 家屋等の解体撤去に要した費用総額	_____ 円

球磨村に対して上記損壊家屋等の解体撤去の費用の負担を申請するに当たり、次のことについて同意します。

- この解体撤去費用申請書及びその添付書類について、事実と異なる記載があり、それにより球磨村に損害が発生した場合には、申請者が責任を持って賠償します。
- 償還の対象となるのは、原則り災証明書にて全壊、大規模半壊及び半壊と判定された家屋等の全部又は公費解体を前提として家屋等の一部を解体することを業者に委託し、解体により生じた廃材等の撤去・処理を行った場合です。  
※単に家屋の一部を解体し、解体により生じた廃材等の撤去・処理を行った場合は、対象となりません。
- 上記損壊家屋等の解体撤去に関して球磨村が申請者に支払う費用は、球磨村で算定した基準額に照らし、上記家屋等の解体・撤去のために必要と認められる費用に限られます。※そのため、解体業者等への支払金額を下回る場合があります。
- 申請者及び借地・借家人をはじめ抵当権者など、上記家屋等に関係する権利者との間で紛争が生じた場合は、申請者の責任において解決します。
- 解体撤去の費用を支払う球磨村のため、解体撤去した上記損壊家屋に係る権利関係、固定資産税の評価、賦課、り災状況及び解体撤去に関する情報について、必要な範囲で関係機関に照会することに同意します。
- 本申請書に記載された個人情報その他の情報については、球磨村が関与する事業に提供することに同意します。

氏名(自署)

印